

会報

# 東京いわゆざき

東京出雲崎会  
丸山保  
佐藤憲一  
会長  
発責任者  
〒132-0031 江戸川区松島3-29-10  
☎03-3651-9517

平成13年

第 3 号

1月吉日

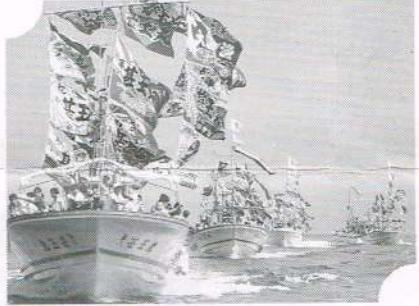
## 〈東京出雲崎会〉 昨年度の活動状況



▲出雲崎小学校閉校実行委員会寄贈



▲未来を担う若人の活躍を期して「成人式」行事に出席(8月16日)



▲海上の安全・豊漁を祈願の「船まつり」行事に出席(8月15日)



▲学び舎に感謝する集いに出席し挨拶する(3月25日)



▲学び舎よ、有り難う。盛大なお別れパーティーに参加(3月25日)



▲「東京新潟県人会創立90周年記念」祝賀会に出席(7月20日)



▲「東京出雲崎会定期総会」懇親会風景(3月11日)



▲同懇親会風景(たよさん舞)(3月11日)

新世紀の初頭にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。本会は創立五十九年を迎えました。その間、先人のご尽力で会員数も六百五十余名に達し、お陰様で盛況のうちに今日に至っております。昨年は懸案事項でありました「会員名簿」を配布する事ができ、ご援助下さった皆様に厚くお礼申し上げます。

本年は、少しづつではあります、「会」の内容を充実させるべく各委員会の活性に取組み、ご長老から若人まで、故郷を愛する「みんなの会」を合い言葉に、輪を広げてゆきたいと思ております。

本年も依然として経済情勢は厳しく、会員の皆様が基盤であります本会も、精神的影響はあるうかと思いますが、越後魂を以て乗り切り、来年の六十周年に向かつて更なる飛躍を念願致し、新年のご挨拶と致します。

ごあいさつ

会長 丸山 保



人とひとの出会いを求めて!

# 平成13年度 「東京出雲崎会」定時総会 開催ご案内

## 21世紀の幕開きです。みんなで盛り上げよう

- ◎日 時……平成13年3月10日(土)  
 受付開始 午前11時より  
 (開会…12:00 閉会…3:30)
- ◎場 所……錦糸町「ロッテプラザ」葵の間  
 (東京都墨田区錦糸4-6-1 ☎03-3625-5101)
- ◎会 費……合計12,000円  
 (年会費1,000円+総会費11,000円)  
 お問い合わせは…☎ 03(3651)9517 佐藤

懇親会には心のメニューを揃えました

## ●再会感激コース……

再会の喜びに深く心が動かされ、お互いの健康を感謝し喜びあえます。

## ●おしゃべりコース……

楽しく懐かしい話に花を咲かせ、心身共にリラックスできる究極の  
ストレス解消。

## ●心ときめきコース……

ほろ苦い青春の想い出を抱いて、アノ人は来ているかな?心ソワソワ。

## ●霊園気楽しみコース……

酒に、料理に、踊りにと、これなくして何の人生!華やかに行きましょう。

## ●おけさ踊りコース……

潮風の清々しい香りがブースいっぱいに広がります。

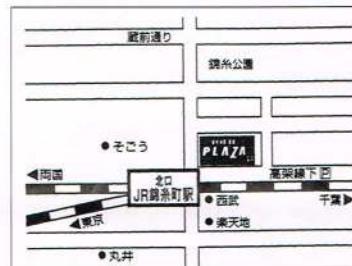
## ●海産物展示即売コース……

親子漬・イカの塩辛等 町の特産品 数々を展示即売しております。

…………どうぞ心ゆくまでお楽しみ下さい…………



[会場ご案内略図]

(交通) JR総武線「錦糸町駅」北口下車徒歩1分  
(山手線秋葉原駅乗り換え3ツ目)総会は会員の皆様にお集まりいただく年1回の楽しい  
イベントです。万障お繰り合わせの上、ご出席下さい

アトラクションも楽しめますヨ!

幹事長  
佐 藤 憲一  
明けまして  
おめでとうございます  
よいよ新世紀を迎えま  
した。これから21世紀は  
あらゆる分野において良く  
も悪くも急速に変化して行  
く事と思われます。このと  
ころIT革命などと騒がれ  
ておりますが人ととの触  
てあります。

三月十日(土)は東京出雲崎会の年に一度の大祭りだ  
ね。カレンダーに○印つけてくんないせいや。町からおけさ  
会が、いかの塩辛、鱈の親子漬け、モゾク、デンブも来る  
でね。皆でおけさ踊りを、さんざやろて。お獅子は太鼓や  
笛、頭や尻をやりてえもんが、やれるがんだでね。  
懐かしい友、やぶち、先輩後輩に、大好きな姉ちゃんを  
是非誘って来なせいね。どうしても来らんね方には賛助年  
会費(通信連絡費)年千円ですが同封の払込票でお振込み  
をお願い申します。尚ご出席の方は当日会場にてお支払  
いをお願い致します。

今度は受付の混雑を避けるために同封の名札紙を用意  
しましたので、「御氏名」をご記入のうえ、ご持参ください。  
入場券、領収書、名札と三連カードになつております。  
どうぞ忘れぬで来てくんなせや。待つていますけね!



総会開催のご挨拶

まるでタイムトンネル！

学校。ご近所。親戚。家族。昔の顔が、町が見えて来る。

出雲崎おけさ。獅子舞。

太夫さん舞。良寛さま。

出雲崎を愛する心で創る、これも故郷。

五十歳 未だ青過ぎて

ほんとに ヨカツタワ！

41年ぶりにお友達にお逢いする。お名前を聞いてお

顔の中から幼い頃の面影を探し思ひ浮かべて懐かしさ

が吹き出しアア逢えて嬉し

い！東京出雲崎会の定時総

会に初めて出席いたしました。もう感激です。同級生

の方々との再会と同時に幼

い頃に近所に住んでいた、

伯父さんや伯母さん方も80

9歳に近いと思いますが

元気ハツラツでお顔もツヤ

ツヤです。消息も、住所も、

分からなかつた方に逢えた

のです。来年もまた出席し

て元気な皆様に逢いたい！

次回は兄も誘つて参加しようかな。これからも是非出席させて頂き懐かしい多くの友達と再会ができるたらと思つております。

お逢い出来る日を楽しみにしております。

夕風会 加賀谷美智子

(旧姓武石)

飛躍と想いを持つて

ちょっとばか  
やつけな話しだいね

懐かしさと勇気が！

町の香りがもつたらしいな！

役員さん方お世話を

ます。年に一度は楽しみで

れます。懐かしい（出雲崎お

けさ）を聞くたび見るたび

迎えて今日を全うしてい

る。東京出雲崎会にも新し

い顔の出席があり、温故知

新を地で行つている。故郷

の言葉と故郷の催しで、一

時を過ごして、サア又今年

も頑張ろう！先輩も後輩も

心をつなぎ東京出雲崎会の

飛躍と故郷への想いを持ち

続けよう！

S十八年度卒 モッコの会

又来年も逢おう！

アイデアとRRの工夫を！

毎年とは申しませんが出

席する都度に帰りが寂しい

思いをするのです。今年も

旧西越出身者の参加の少な

い事なのです。役員の皆様

なりに工夫努力、手を打つ

ておられると信じております

が。結果は毎年一人か二人

か。世を擧げてのPR時代

ですものね。何かPRに良いもの

でありますか。

## 十三会

昭和十二年度小卒

## 子丑会

昭和十一年度小卒

## 若柳会

昭和十年度小卒

## 七雲会

昭和四年度小卒

## 3辰巳会

昭和十五年度小卒



夕風会

七八会幹事より

年々歳々花似相  
歳々年々人不同

今にも大粒の雨が降りそ

うな雲行きに、遠雷が聞こ

える夕方、突然電話が訃報

を知らせてきた。またまた

会員や会員のご主人が亡くなられた。まだまだ若いの

にそんなに早く逝かないで

と思いながら、ご冥福を祈

ります。我々も残された人

生を一生懸命に生きようと

悔いの無いように、ジャン

ケンボンの遊び心を大切に

お互いの健康を確認しあえ

る総会出席もこれから益々

大切になって来ると思う昨

今である。みんなで明るく

楽しい総会にして明日の幸

せをつかもうよ。

天領おんな船。太夫さん  
舞い、獅子舞い。皆んで踊つ  
たおけさの輪おどり等：明  
日への励みを与えてくれた。  
物産展示即売会に希望一

籠だんご。鱈の子塩辛。

はのこの会より

# 郷土の史跡(二)

出雲崎町公民館

館長 大森正雄

【西越地区】

稻川・矢郷橋遺跡

越後線小木城駅から島崎川をはさんで北西方向に小高い丘が見える。

出雲崎町稻川字西ヶ峰地内この丘は、東・西・北の三方を三島丘陵に囲まれた台地上にあり、丘の東側を島崎川が、越後線と並行して流れている。ここに矢郷橋遺跡がある

が、現在は野菜畑や苗木畑として利用され、鶴舎建設や開墾によつて一部が破壊されている。

この遺跡が確認されたのは、稻川の故駒村善一氏によつて遺物収集がなされてからであるが、本格的な学術調査は行われなかつた。

昭和五十年(一九七五)秋、当時の西越高校教諭・岡本郁栄先生によつて、遺物の表面採集および検土杖による調査の結果、遺物は台地

の北西端、東側の浅い谷状地、南側の丘陵の接点附近に、多く分布していることが確認された。

痕が施されていることである。西越地区には乙茂の飯田

遺跡などもあり、縄文時代から人びとが住んでいたことが知られている。

昭和十六年度小卒

午朋会

昭和十七年度小卒

午コの会

昭和十八年度小卒

七八会

昭和十九年度小卒

末広会

昭和二十年度小卒

越後線小木城駅から島崎川をはさんで北西方向に小高い丘が見える。

出家離郷に関する良寛詩歌碑・一基

尼瀬光照寺(曹洞宗)の

本堂前に、良寛の「出家の歌」を刻んだ歌碑がある。

「出家の歌」は昭和三十九年、渡辺秀英先生が発見された良寛歌集の写本『木端集』に収録されているもので、原題「題しらす」という長歌である。

この歌には「前略」たらちねの母に別れをつげたばは今はこの世の名残とや思ひましきむ涙ぐみ手に手をとりてわがおもをつくづくと見し

良寛が国仙和尚に伴われ

おもかげはなほ目の前にあるごとし父にいとまをこひければ父がかたらく世を捨てしすてがひなしと世の人にはるなゆめといひしこと今も聞くごと思はえぬ(後略)と、父母の慈しみや戒めを胸に修行に励みたいといふ、良寛の決意が示されていて、良寛の決意が示されて

いる。この歌碑は良寛没後百五十年祭を期して、昭和五十五年四月六日、渡辺秀英先生の筆による六十一句の長歌を全文刻んで、光照寺壇

に建立された。この詩の遺墨はないの

う、良寛景慕会の要請によつて、平成十一年(一九九一)秋、出雲崎町で建立された詩碑がこれである。

碑面に刻まれているのは「秋日、天花上人と雲崎(うんき)」(出雲崎)に遊ぶ」と題された良寳の漢詩から振(ふる)つて親戚や昔なじみの人と別れ、手をあげて故郷のまちと離れた。それ



「出家の歌」歌碑 光照寺＝尼瀬



蛇崩れの良寛詩碑

良寛詩碑の文章

錫を振つて親故に別れ手を挙げて城門を謝す  
衲衣(のうい)聊か破るるを補い  
一鉢(いつばち)幾春なるを知らず

良寛詩碑の文章

錫を振つて親故に別れ手を挙げて城門を謝す  
衲衣(のうい)聊か破るるを補い  
一鉢(いつばち)幾春なるを知らず

以来、僧衣の破れをつくるいながら、ただ一個の器(つわ)を持つ僧の身を過したことか」というものである。

この詩の遺墨はないの

うにんは、「天華上人」とも書き、出雲崎の淨玄寺住職であることは、当時の記録にあるが、詳しいことは分からぬ。

天領の豊かさを今に伝える

## 「出雲崎妻入りの街並」

この頃出雲崎にて

最近、我が家の中の孫が良寛さんの歌に押揚を付け暗唱するのを良く聞く。新出雲崎小の校歌に良寛さんの歌があり、小学生が覚えたのを知りました。記憶力豊かな年代に、その感性を通じ心の中に刻み込まれ得たら、どんなにか子供達の宝物になるのだろう……と。

作詞者の意を受け、良寛さんの歌をその折々に相応しい歌に差し替えて生徒が唄っている。既に春・夏・秋の三首が唄われた。冬はどの歌を唄つてくれるか、今から楽しみです。

因に、校歌の入った三首は次の通りです。

『春の歌』

霞立つ ながき春日を 子供らと

手毬つきつつ この日暮らしつ

『夏の歌』

この頃は さ苗とるらし わが庵は

形を絵に描き 手向けこそすれ

『秋の歌』

月よみの 光を待つて かへりませ

山路は栗の いがの多きに

いざれも有名な歌ばかりですが、年が変わり人も移り、幾十年後にも良寛さんの心が、校歌で唄え継がれて行くためにも活気ある、それでいて落ちていた街にしなければならないと考えています。



くるまや旅館前  
尼瀬一区と二区の境界付近

出来れば永住したいとの照会も寄せられます。歴史と豊かな自然のある町としてテレビ放映される機会が多く、思わず遠方から問い合わせもあるとか。残念ながらその都度適当な物

件の心当たりを求めて噂話を辿る、その繰り返しが現状です。先年、街並景観推進協議会で空付近・石油記念館入り口付近(カラーブラック)カラーブラックは尼瀬

獄門跡・天領の里入り口付近まで施されています。石畳の延べ面積は七四八平方米になります。カラー舗装には概ね三つの特徴が見えます。

①足に馴染み、歩き易い事。②自動車走行時のタイヤの摩擦音が小さくなる事。③透水性が高く、雨の日でも水溜めができない事。他にポケットパークを含む全体が醸し出す趣、風情の良さは格別です。是非、帰郷際には実感して戴きたく、と思います。尼瀬から全町へと町は今年度事業として良寛堂前に石畳舗装を予定しています。景観修景は家並みにも良い影響があると考えています。街並景観保全の運動も少しずつ地域住民に受容され、新改築時の相談が役場に寄せられる様になりました。

インターネットやマスコミを通じての広報の結果なのでしょうか、ここ数年空家を求め、



石油記念会館入口 尼瀬三区

家・空地対策のアンケート調査を実施したが前記の照会に答える事が出来ないのが実情です。空家・空地は年々増加傾向で桟の歯が欠けた様な家並みが見られ更に進行状態です。故郷を後にした町に家をお持ち方のご理解ご協力が最も待たれる部分です。

町はホームページに観光・イベント・町情報を載せており、アクセスも相当数あるそうです。前回調査から三年経ち、下水道工事も終了。急ぎ、空家空地の再調査を行い町内外からの問い合わせの資料を整え、ホームページ掲載の必要に迫られています。

去る八月『かわらばん妻入り』第十号で協議会三グループの十二年度活動計画と長岡造形大学による「野尻邸(旧常見邸)改修事業開始の報告をしました。長岡造形大学の「二〇二〇年出雲崎街並計画」はスタートしたばかりです。『造形大学十推進協議会』の関係を軸にハード・ソフト両面の相互協力は不可欠であると認識しております。

とりとめなく長々と書いてきました。生まれながら重度の方向音痴の為、都会は苦手、この街が性にあっています。津町の綽名でも町全体が歴史的遺産だと言わっては尚の事です。協議会の皆さんと街並景観保全と活性化に努めます。

従前にもましたご支援をお願いします。

羽黒町 佐々木 貞治

もうの会

昭和二十九年中卒

二二美会

昭和二十八年中卒

二七会

昭和二十七年中卒

はのの会

昭和二十六年中卒

さざなみ会

昭和二十五年中卒

# 平成十三年度 各委員会の 活動方針

## 運営委員会

委員長・佐藤憲一

◎今年度より東京出雲崎会も新潟県人会に入会致しましたので、県人会とも連携を取りつつ、当会の充実した運営を計りたい。

◎各委員会の活動方針を把握し、みつに連絡し、その活動が円滑に進む様に情報を提供したい。

◎定時総会の受付時に於ける混雑緩和策と会場内での席順の最良策を検討する。※これについては、大変頭を痛めております。皆様からのお知恵を拝借します。

新規会員の入会促進  
現会員構成偏重傾向の  
是正及び新名簿による  
定時総会出席者の分析

## 組織委員会

委員長・津山忠夫

出雲崎出身者で東京及び近郊在住の人達の入会勧誘を計りたい。  
年代別、学年別、クラブリーダーを掌握し、会役委員に推举したい。

※会員各位の身辺の兄弟姉妹・同級生・従兄弟・甥・姪・その他の親戚等に声を掛け下さい。

委員長・佐藤恵美子  
◎東京出雲崎会の方針・企画・活動等を会員各位に伝達する。  
◎会報『東京いずもさき』の作成にあたり、各委員会の方針・企画・活動等を収集し会報に掲載する。

◎会員各位の身辺に起きたニュース、或いは同期会、出身町内の集い、その他色々、各位が紹介したいもの

のを収集、会報に掲載する。  
◎各委員会及び一般会員から情報の提供をお願いしたい。

毎夏、出雲崎をスケッチ旅行で訪れる東京芸術大学の大学院生達が残していく作品です。芸大生が描いた妻入り家並美しい自然。

出雲崎町教育委員会へ  
○二五八一七八一二二五〇  
FAX  
○二五八一七八一四五五九  
電話  
☆三月十日 「定時総会」  
☆八月十五日 「船まつり」  
☆八月十六日 「成人式」  
☆十月下旬頃 「文化活動」  
☆翌一月下旬 「会報発行」  
☆その他

問い合わせ、申込みは  
問い合わせ、申込みは  
出雲崎町教育委員会へ  
○二五八一七八一四五五九  
FAX  
○二五八一七八一二二五〇  
電話  
☆三月十日 「定時総会」  
☆八月十五日 「船まつり」  
☆八月十六日 「成人式」  
☆十月下旬頃 「文化活動」  
☆翌一月下旬 「会報発行」  
☆その他

## 平成十三年度事業予定

## 昭和三十三年中卒 美美会

## 昭和三十一年中卒 辰巳会

## 昭和三十一年中卒 夕凧会

## 昭和三十一年中卒 三七寛の会

## 昭和四十年中卒 夕渚会

21世紀の初春を寿ます  
我が東京出雲崎会報も第3回を編集できました。▼我

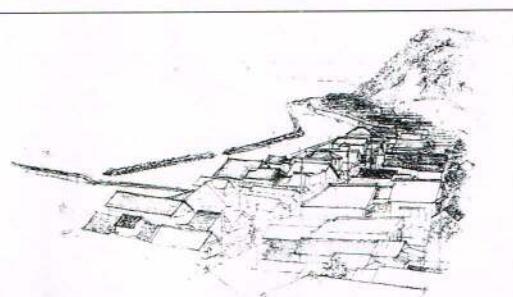
が会にも若い力のご参入も増えてきました。▼総会での「私にも一言」にあります様に老若が年に一回集い

て語り合おうの心春惜しむ白河  
母の日へちき母傳伏五十年仙樂  
天辺に召謡めたり花やくろ多和子  
才足で打ち込ひ声々寒稽古夢想子

## 会計委員会

委員長・大矢二郎

◎定時総会・各委員会が円滑に進む様に会計を取り計算したい。  
◎定時総会・各委員会毎の予算形式を計りたい。  
◎基金の運営に万全を期すための細則を設定中です。



出雲崎街並スケッチ  
画集 再販します！

## 方言集出版？

二十世紀を迎えて、國も中央集権から地方分権に移ろうかと進みつつある中、言葉も標準語から各地の方の方言が幅を効かせてくるのでは……?と思ひ、我が家ふる里、出雲崎の言葉を収集した津山忠夫氏が方言集として制作し、三月十日の総会の時、出版予定です。

(編集部)

## 編集後記

新潟県人会出席

役員懇談会 1年一回  
役員会総会 1年二回  
各委員会会議 1年二回  
会報編集会議 必要時

☆翌一月下旬 「会報発行」  
☆その他